

北海道にとって必要な社会資本整備を進めていくために ～中長期的な視点で「選択と集中」～

生活や産業を支える 社会資本整備 9つの基盤と59の施策

都市公園、上下水道、公営住宅など
生活基盤（7施策）

休憩施設、案内表示など
観光基盤（3施策）

医療施設、保育所、社会福祉施設など
保健・医療・福祉基盤（7施策）



森林、自然公園、
廃棄物処理施設など
環境基盤（7施策）

農地、農業用施設、漁港、漁場など
農林水産基盤（10施策）

治山・治水、砂防、海岸、
避難施設など
国土保全基盤（3施策）

道路、空港、港湾、鉄道など
交通基盤（13施策）

光ファイバ、
光海底通信ケーブルなど
高度情報通信基盤（3施策）

学校、体育施設など
教育・文化基盤
（6施策）

選択
と
集中

グループA：早期の効果発現を目指し優先的に取り組む 21 施策

例)



交通ネットワークの整備



治水・砂防・海岸施設の整備



農地や農業用施設の整備

グループB1：優先的に取り組む 12 施策

例)



地方空港の機能向上



治山ダムや保安林の整備



高齢者向け公営住宅の整備

グループB2：計画的・段階的に取り組む 18 施策

例)



バイパスなど都市内の道路の整備



荷さばき施設など水産施設の整備



地方・地域センター病院の整備

グループC：既存ストックの有効活用などを中心に取り組む 8 施策

例)



身近な自然とふれあう公園などの整備



農道の整備



体育施設の整備

優先度

- ①重視すべき施策
- ②緊急性
- ③波及性